

【みくに龍翔館企画展】

没後 50 年記念

高見順という作家

多

くの文学者や作家とゆかりのある坂井市。みくに龍翔館では、三国町平木(現北本町)に生まれ、詩、小説、日記など幅広い分野で活躍した高見順(左写真)の企画展を開催します。

企画展では、代表作である『如何なる星の下に』の初版本などや自筆原稿、愛用していた湯飲みや絵の具、パレットのほか、収集していた茶器など骨董品の数々を展示します。

高見順が没してから50年の節目。文学に触れるだけでなく、高見順という“人間”に触れてみませんか。

とき
4月25日(土)～5月31日(日)
開館時間
9時から17時
休館日
4月30日(木)、5月7日(木)、
13日(水)、20日(水)、27日(水)

入館料
大人 300円
中学生以下 150円
(30人以上は2割引)

※未就学児、市内小中学生は無料
※下記常設展もご覧いただけます
◎みくに龍翔館 ☎82-5666



常設展も魅力が満載

みくに龍翔館内には、三国の文学や芸術がたくさん詰まっています。各階には主に次のようなものを展示しています。

- 1階 5分の1サイズの北前船が中央に展示。またジオラマなどで自然を紹介趣のある古文書や船筆筒など、三国湊の歴史や文化の資料を展示
- 2階 文学と民族のコーナー。三好達治や高見順の作品などを紹介。書斎の再現は必見です
- 3階 トリックアートのほか、窓からは360度のパノラマが楽しめます
- 4階 館内だけでなく、一風変わった外観も楽しむことができます。ぜひお越しください。

